

2023年2月17日

各位

2022年度第3四半期決算報告



オリックス生命保険株式会社

オリックス生命保険株式会社(本社:東京都千代田区、社長:片岡 一則)の2022年度第3四半期決算(2022年4月1日～2022年12月31日)を以下のとおりお知らせします。

1. 契約の状況

◆新契約(個人保険)の状況

(単位:千件、億円)

	2020年度 第3四半期		2021年度 第3四半期		2022年度 第3四半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
新契約件数	362	98.0%	249	68.8%	220	88.2%
新契約年換算保険料	313	110.4%	216	68.9%	203	94.2%
新契約高	13,769	126.2%	7,705	56.0%	6,020	78.1%

今年4月に発売した「医療保険キュア・ネクスト」の販売が堅調だったものの、円安進行の影響などにより「米ドル建終身保険キャンドル」の販売が減少したことなどから、前年同期に比べ減少する結果となりました。

◆保有契約(個人保険)の状況

(単位:千件、億円)

	2020年度末		2021年度末		2022年度 第3四半期末	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比
保有契約件数	4,792	105.9%	4,882	101.9%	4,906	100.5%
保有契約年換算保険料	3,206	108.4%	3,323	103.7%	3,374	101.5%
保有契約高	140,941	106.5%	142,622	101.2%	141,846	99.5%

保有契約件数および保有契約年換算保険料は、終身保険や医療保険の保有が増加したことなどにより、前年度末に比べ伸展しています。保有契約高は、収入保障保険などの減少により、前年度末比99.5%となりました。

2. トピックス

- 2022年4月
 - ・ 医療保険「キュア・ネクスト」「キュア・レディ・ネクスト」の販売を開始
 - ・ 当社直営の来店型保険ショップ「保険あんしんパーク」を、ららぽーと福岡に全国初出店
- 2022年9月
 - ・ HDI格付けベンチマークで、最高評価三つ星を7年連続ダブル受賞
- 2022年10月
 - ・ UCDAアワード2022で、最優秀賞とアナザーボイス賞を受賞
- 2022年12月
 - ・ サステナビリティ方針を制定
 - ・ IT賞で、「IT 優秀賞(マネジメント領域)」を受賞

3. 収支・資産等の状況

◆ 収支・利益・資産

(単位:億円)

	2020年度 第3四半期		2021年度 第3四半期		2022年度 第3四半期		2021年度
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
保険料等収入	3,827	139.8%	3,268	85.4%	3,307	101.2%	4,485
資産運用収益	810	190.0%	417	51.6%	518	124.2%	584
保険金等支払金	1,691	99.2%	1,850	109.4%	2,263	122.3%	2,408
資産運用費用	53	176.4%	28	52.7%	173	614.7%	43
基礎利益	△ 157	-	△ 10	-	△ 95	-	△ 57
当期純利益	△ 93	-	△ 34	-	△ 84	-	△ 103

(単位:億円)

	2020年度末		2021年度末		2022年度 第3四半期末	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比
総資産	22,718	114.1%	24,496	107.8%	24,961	101.9%

- ・保険料等収入は、前年同期比101.2%の3,307億円となりました。
- ・資産運用収益は、利息及び配当金等収入が増加したことなどから、前年同期比 124.2%の518億円となりました。
- ・保険金等支払金は、新型コロナウイルス感染症の影響による入院給付金の増加などにより、前年同期比122.3%の2,263億円となりました。
- ・資産運用費用は、特別勘定資産運用損が増加したことなどから、前年同期比614.7%の173億円となりました。
- ・基礎利益は、前年同期と比べて85億円赤字幅が拡大し、△95億円となりました。
- ・当期純利益は、前年同期と比べて50億円赤字幅が拡大し、△84億円となりました。
- ・総資産は、前年度末比101.9%の2兆4,961億円となりました。

◆ 米国会計基準(SEC基準)による主要な経営指標

オリックスグループは、米国会計基準(SEC基準)を採用しているため、当社においても、会社法基準のほかにSEC基準を採用し、経営管理の指標としています。

(単位:億円)

	2020年度 第3四半期		2021年度 第3四半期		2022年度 第3四半期		2021年度
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
営業収益	3,073	113.0%	3,406	110.8%	3,865	113.5%	4,942
生命保険料等収入	2,898	113.5%	3,119	107.6%	3,291	105.5%	4,324
資産運用収益	175	105.2%	288	164.5%	575	199.7%	618
営業費用	2,594	113.3%	2,953	113.8%	3,624	122.7%	4,403
生命保険費用	2,147	113.8%	2,531	117.9%	3,040	120.1%	3,643
資産運用費用	43	140.0%	19	45.1%	170	872.1%	164
その他費用	404	108.5%	402	99.6%	413	102.8%	597
税引前当期純利益	479	111.3%	453	94.7%	241	53.2%	539
法人税等	135	113.7%	128	94.5%	68	53.5%	156
当期純利益	344	110.3%	326	94.7%	173	53.1%	384

(単位:億円)

	2020年度末		2021年度末		2022年度 第3四半期末	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比
総資産	24,851	110.5%	26,138	105.2%	24,442	93.5%
保険契約債務	18,215	114.5%	19,627	107.8%	20,226	103.1%
株主資本 (払込資本金)	4,745 (590)	101.3%	4,595 (590)	96.8%	3,076 (590)	66.9%

※上記は、オリックス生命単体での決算数値のため、オリックス株式会社に開示しているセグメント利益(保険)とは異なります。

(参考)

オリックス株式会社(コード番号:8591)の2023年3月期第3四半期連結決算(2022年4月～2022年12月)

<https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/settlement/>

- ・生命保険料等収入は、保有契約が増加したことなどから、前年同期比105.5%の3,291億円となりました。
- ・資産運用収益は、有価証券利息・配当金の増加および為替の影響などから、前年同期比199.7%の575億円となりました。
- ・生命保険費用は、新型コロナウイルス感染症の影響による入院給付金の増加などにより、前年同期比120.1%の3,040億円となりました。
- ・資産運用費用は、金融派生商品費用が増加したことなどから、前年同期比872.1%の170億円となりました。
- ・税引前当期純利益は、前年同期比53.2%の241億円、当期純利益は、前年同期比53.1%の173億円となりました。
- ・総資産は、前年度末比93.5%の2兆4,442億円となりました。

(SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについては次のページをご参照ください。)

<SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについて>

1. 新契約の獲得経費

- ・SEC基準では、新契約の獲得経費は、新契約からもたらされる将来の収入に対応すべき部分を、当期に一括計上せず、繰延処理します。
- ・会社法基準では、新契約の獲得経費を当期費用として一括計上します。
- ・新契約の販売が好調な時、SEC基準では、新契約の増加に比例する形で利益が増加し、会社法基準では、当期の利益が減少します。

2. 責任準備金

- ・SEC基準では、実績発生率を基に計算される責任準備金を積み立てます。
- ・会社法基準では、無配当商品に対しても有配当商品と同じ積み立てを行うなど、一般的に、SEC基準と比べて契約初期の積立負担が大きな標準責任準備金を積み立てます。

3. 再保険取引

- ・当社は保険契約の一部を出再することにより、リスク軽減を図っております。
 - ・上記再保険に付したリスクに係る責任準備金について、SEC基準では積み立てておりますが、会社法基準では保険業法に基づき積み立てない場合があります。
- そのため、当該部分に係るリスクが減少する場合、SEC基準では責任準備金取崩し益が生じますが、会社法基準では当該益は発生しません。

当社においては主に、上記一時的な差異により、会社法基準はSEC基準より利益が減少する傾向があります。

4. 健全性等の状況

◆ソルベンシー・マージン比率

	2021年度末	2022年度 第3四半期末
ソルベンシー・マージン比率	1,275.9%	860.2%

・ソルベンシー・マージン比率は、前年度末から415.7ポイント減の860.2%となりましたが、引き続き高水準を維持しています。

◆格付け(2023年2月17日現在)

・格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力格付け : AA-

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
経営企画部広報チーム 高原・林
TEL:03-4212-4034

<目 次>

1. 主要業績	(1)
2. 資産運用の実績(一般勘定)	(3)
3. 四半期貸借対照表	(6)
4. 四半期損益計算書	(7)
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	(9)
6. ソルベンシー・マージン比率	(10)
7. 特別勘定の状況	(12)
8. 保険会社及びその子会社等の状況	(12)

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		前年度末比
				前年度末比	前年度末比	
個 人 保 険	4,882,436	142,622	4,906,850	100.5	141,846	99.5
個 人 年 金 保 険	98,198	3,248	95,093	96.8	2,794	86.0
団 体 保 険	—	7,357	—	—	7,976	108.4
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。ただし、一時払個人年金保険の年金支払開始前契約については、基本保険金額を計上しています。

・新契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	2021年度 第3四半期累計期間				2022年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	前年 同期比	金 額			
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比			新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	249,469	7,705	7,705	—	220,004	88.2	6,020	78.1	6,020	—
個 人 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 一時払個人年金保険の金額は新契約時の基本保険金額です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度末	2022年度 第3四半期 会計期間末	
			前年度末比
個 人 保 険	332,377	337,477	101.5
個 人 年 金 保 険	43,289	41,641	96.2
合 計	375,666	379,118	100.9
うち医療保障・ 生前給付保障等	212,314	214,234	100.9

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度 第3四半期 累計期間	2022年度 第3四半期 累計期間	
			前年同期比
個 人 保 険	21,618	20,369	94.2
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	21,618	20,369	94.2
うち医療保障・ 生前給付保障等	13,436	12,004	89.3

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績(一般勘定)

(1)資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	128,907	5.7	83,652	3.6
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	9,924	0.4	9,221	0.4
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	1,955,546	86.6	2,071,464	88.5
公 社 債	1,292,447	57.3	1,355,591	57.9
株 式	129	0.0	129	0.0
外 国 証 券	644,820	28.6	696,221	29.7
公 社 債	606,567	26.9	628,464	26.8
株 式 等	38,253	1.7	67,757	2.9
そ の 他 の 証 券	18,149	0.8	19,522	0.8
貸 付 金	18,580	0.8	18,568	0.8
不 動 産	43,756	1.9	43,006	1.8
繰 延 税 金 資 産	8,495	0.4	15,990	0.7
そ の 他	94,098	4.2	101,084	4.3
貸 倒 引 当 金	△ 1,900	△ 0.1	△ 1,950	△ 0.1
合 計	2,257,409	100.0	2,341,037	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	673,648	29.8	713,411	30.5

(注) 不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

(2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外)

(単位：百万円)

区 分	2021年度末					2022年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	114,144	135,441	21,296	21,296	—	114,036	126,304	12,267	12,308	41
責任準備金対応債券	1,068,771	954,951	△ 113,819	1	113,820	1,232,301	911,672	△ 320,629	4	320,633
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	714,604	716,098	1,493	15,264	13,770	737,577	706,878	△ 30,699	11,422	42,121
公 社 債	329,438	333,196	3,758	7,394	3,636	274,377	267,417	△ 6,959	3,768	10,728
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	385,166	382,901	△ 2,264	7,869	10,134	439,861	415,409	△ 24,451	6,726	31,178
公 社 債	385,166	382,901	△ 2,264	7,869	10,134	398,812	370,300	△ 28,512	2,429	30,942
株 式 等	—	—	—	—	—	41,048	45,109	4,060	4,297	236
その他の証券	—	—	—	—	—	14,046	14,829	783	783	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	9,292	9,221	△ 71	143	214
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	1,897,520	1,806,491	△ 91,029	36,562	127,591	2,083,915	1,744,854	△ 339,061	23,735	362,797
公 社 債	1,288,688	1,230,172	△ 58,515	25,930	84,446	1,362,551	1,135,333	△ 227,218	15,774	242,992
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	608,831	576,318	△ 32,513	10,631	43,145	698,025	585,469	△ 112,555	7,034	119,589
公 社 債	608,831	576,318	△ 32,513	10,631	43,145	656,976	540,360	△ 116,616	2,737	119,353
株 式 等	—	—	—	—	—	41,048	45,109	4,060	4,297	236
その他の証券	—	—	—	—	—	14,046	14,829	783	783	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	9,292	9,221	△ 71	143	214
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。
2. 市場価格のない株式等および組合等は本表から除いています。

・市場価格のない株式等および組合等の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2021年度末	2022年度 第3四半期会計期間末
子 会 社 ・ 関 連 会 社 株 式	123	123
そ の 他 有 価 証 券	53,530	26,086
国内株式	5	5
外国株式	—	—
その他	53,524	26,080
合 計	53,653	26,209

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	2021年度末 要約貸借対照表 (2022年3月31日現在)	2022年度 第3四半期会計期間末 (2022年12月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		135,303	89,148
買入金銭債権		9,924	9,221
有価証券		2,140,660	2,220,779
（うち国債）		(831,289)	(929,385)
（うち地方債）		(65,605)	(63,901)
（うち社債）		(395,551)	(362,304)
（うち株式）		(129)	(129)
（うち外国証券）		(646,198)	(697,635)
貸付金		18,580	18,568
保険約款貸付		6,468	7,196
一般貸付		12,111	11,371
有形固定資産		44,758	43,888
無形固定資産		14,691	12,930
代理店貸		59	60
再保険貸		24,273	21,111
その他資産		54,770	66,372
繰延税金資産		8,495	15,990
貸倒引当金		△ 1,900	△ 1,950
資産の部合計		2,449,616	2,496,121
(負債の部)			
保険契約準備金		2,183,334	2,262,877
支払備金		30,338	33,052
責任準備金		2,152,151	2,229,185
契約者配当準備金		844	639
代理店借		3,651	3,632
再保険借		107,674	118,456
その他負債		37,231	25,367
未払法人税等		69	53
その他の負債		37,161	25,313
退職給付引当金		642	686
価格変動準備金		5,899	6,687
負債の部合計		2,338,433	2,417,708
(純資産の部)			
資本金		59,000	59,000
資本剰余金		45,204	45,204
資本準備金		45,204	45,204
利益剰余金		3,830	△ 4,594
その他利益剰余金		3,830	△ 4,594
繰越利益剰余金		3,830	△ 4,594
株主資本合計		108,035	99,610
その他有価証券評価差額金		3,148	△ 21,196
評価・換算差額等合計		3,148	△ 21,196
純資産の部合計		111,183	78,413
負債及び純資産の部合計		2,449,616	2,496,121

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2021年度 第3四半期累計期間 〔 2021年4月1日から 2021年12月31日まで 〕	2022年度 第3四半期累計期間 〔 2022年4月1日から 2022年12月31日まで 〕
		金 額	金 額
経 常 収 益		371,493	384,929
保 険 料 等 収 入		326,841	330,771
(うち 保 険 料)		(315,288)	(314,619)
資 産 運 用 収 益		41,789	51,886
(うち 利 息 及 び 配 当 金 等 収 入)		(17,458)	(26,730)
(うち 有 価 証 券 売 却 益)		(1,697)	(5,848)
(うち 金 融 派 生 商 品 収 益)		(—)	(1,685)
(うち 特 別 勘 定 資 産 運 用 益)		(13,281)	(—)
そ の 他 経 常 収 益		2,862	2,271
経 常 費 用		374,639	394,456
保 険 金 等 支 払 金		185,034	226,352
(うち 保 険 金)		(28,533)	(27,621)
(うち 年 金)		(55,649)	(39,899)
(うち 給 付 金)		(40,941)	(67,185)
(うち 解 約 返 戻 金)		(25,120)	(29,922)
(うち そ の 他 返 戻 金)		(2,483)	(30,775)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		112,274	79,747
支 払 備 金 繰 入 額		—	2,713
責 任 準 備 金 繰 入 額		112,274	77,034
資 産 運 用 費 用		2,817	17,320
(うち 支 払 利 息)		(5)	(85)
(うち 有 価 証 券 売 却 損)		(262)	(4,507)
(うち 金 融 派 生 商 品 費 用)		(504)	(—)
(うち 特 別 勘 定 資 産 運 用 損)		(—)	(10,993)
事 業 費		63,099	60,685
そ の 他 経 常 費 用		11,413	10,351
経 常 損 失		3,146	9,527
特 別 損 失		663	850
固 定 資 産 等 処 分 損		10	62
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		653	788
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		728	538
税 引 前 四 半 期 純 損 失		4,538	10,916
法 人 税 及 び 住 民 税		△ 1,513	△ 4,463
法 人 税 等 調 整 額		448	1,972
法 人 税 等 合 計		△ 1,065	△ 2,491
四 半 期 純 損 失		3,473	8,424

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2022年度第3四半期会計期間末

1. 「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。
2. 当社は、当事業年度の期首から、オリックス株式会社を通算親会社とするグループ通算制度を適用しております。これに伴い、法人税及び法人地方税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従っております。
3. 四半期特有の会計処理
貸倒引当金の算定方法
貸倒引当金は、次のとおり計上しております。
破産、民事再生等、法的形式的な経営破綻の事実が発生している債務者に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。上記以外の債権については、前会計年度末の貸倒実績率を基礎として、合理的な範囲内で調整を加えた貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。
4. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、55,098百万円であります。
5. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ.	当期首現在高	844百万円
ロ.	当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	743百万円
ハ.	契約者配当準備金繰入額	538百万円
ニ.	当第3四半期会計期間末現在高	639百万円
6. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

2022年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は、4,089円74銭であります。
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

	2021年度 第3四半期 累計期間	2022年度 第3四半期 累計期間
基礎利益 A	△ 1,086	△ 9,545
キャピタル収益	11,576	30,112
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	1,697	5,848
金融派生商品収益	—	1,685
為替差益	8,950	17,621
その他キャピタル収益	928	4,957
キャピタル費用	8,978	26,167
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	262	4,507
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	504	—
為替差損	—	—
その他キャピタル費用	8,211	21,660
キャピタル損益 B	2,598	3,945
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	1,512	△ 5,599
臨時収益	73	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	73	—
個別貸倒引当金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	4,731	3,927
再保険料	4,229	3,215
危険準備金繰入額	—	662
個別貸倒引当金繰入額	501	49
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 4,658	△ 3,927
経常利益 A+B+C	△ 3,146	△ 9,527

(参考)その他項目の内訳

(単位：百万円)

	2021年度 第3四半期 累計期間	2022年度 第3四半期 累計期間
基礎利益	7,283	16,703
マーケット・ヴァリュー・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	△ 0	△ 0
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	8,211	21,660
為替に係るヘッジコスト	△ 580	△ 4,957
投資信託の解約損益	—	—
有価証券償還損益のうち市場為替レート変動の影響額	△ 347	—
その他キャピタル収益	928	4,957
マーケット・ヴァリュー・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	0	0
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	—	—
為替に係るヘッジコスト	580	4,957
投資信託の解約損益	—	—
有価証券償還損益のうち市場為替レート変動の影響額	347	—
その他キャピタル費用	8,211	21,660
マーケット・ヴァリュー・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	—	—
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	8,211	21,660
為替に係るヘッジコスト	—	—
投資信託の解約損益	—	—
有価証券償還損益のうち市場為替レート変動の影響額	—	—

(注) 当期より、ヘッジ付外貨建債券等の運用収益をより適切に反映するため、為替に係るヘッジコストを基礎利益へ算入しております。なお、2021年度第3四半期累計期間については、上記変更後の取扱いに基づき算出するとともに有価証券償還損益のうち市場為替レート変動の影響額をキャピタル損益に算入しております。

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2021年度末	2022年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	277,164	198,722
資本金等	108,035	99,610
価格変動準備金	5,899	6,687
危険準備金	14,887	15,550
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金 (税効果控除前)・繰延ヘッジ損益 (税効果控除前)) × 90% (マイナスの場合100%)	3,935	△ 29,439
土地の含み損益 × 85% (マイナスの場合100%)	14,095	14,095
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	173,390	173,303
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び 負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 44,568	△ 80,989
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	1,489	△ 94
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	43,443	46,202
保険リスク相当額 R1	7,041	6,973
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	6,086	6,187
予定利率リスク相当額 R2	1,757	1,938
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	38,532	40,603
経営管理リスク相当額 R4	1,068	1,671
ソルベンシー・マージン比率		
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,275.9%	860.2%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

(参考)連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2021年度末	2022年度 第3四半期 連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	276,892	198,416
資本金等	108,195	99,697
価格変動準備金	5,899	6,687
危険準備金	14,887	15,550
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	3,935	△ 29,439
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	14,095	14,095
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 432	△ 393
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	173,390	173,303
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 44,568	△ 80,989
控除項目	—	—
その他	1,489	△ 94
リスクの合計額 (B)	43,407	46,166
$\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$		
保険リスク相当額 R1	7,041	6,973
一般保険リスク相当額 R5	—	—
巨大災害リスク相当額 R6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	6,086	6,187
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R9	—	—
予定利率リスク相当額 R2	1,757	1,938
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	38,495	40,566
経営管理リスク相当額 R4	1,067	1,670
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,275.7%	859.5%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。

7. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:億円)

区 分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険	—	6	—	5
個人変額年金保険	—	1,921	—	1,547
団体年金保険	—	—	—	—
特別勘定計	—	1,927	—	1,552

(2) 保有契約高

・個人変額保険

(単位:件、億円)

区 分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険(有期型)	—	—	—	—
変額保険(終身型)	78	4	68	4
合 計	78	4	68	4

・個人変額年金保険

(単位:件、億円)

区 分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	19,861	1,301	17,392	1,116

(注) 金額は、年金支払開始前契約の基本保険金額と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

当第3四半期においては、子会社等が当社と比べて小規模であり、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、連結財務諸表を作成していません。